

## 広島国際空港株式会社による広島空港の運営開始 及びパートナーシップ協定の締結について

空港振興課

### 1 要旨

令和3年7月1日から「広島国際空港株式会社」（以下「HIAP」という。）による広島空港の運営事業が開始される。

HIAPによる事業期間満了(令和32年12月17日)までの30年間にわたり、県とHIAPが連携して広島空港の将来ビジョンを実現するための「拠り所」としてパートナーシップ協定を締結する。

### 2 パートナーシップ協定の概要

県とHIAPは、HIAPが「将来ビジョン」に掲げる「広島空港が『中四国の持続的成長を牽引し続ける圧倒的No.1ゲートウェイ』」を実現するため、相互に責任を持って取り組む事項について協定を締結する。

#### (1) 取組事項

- 広島空港及び空港周辺地域の活性化に関すること
  - ア 広島空港の路線誘致に関すること
  - イ 広島空港の利用促進に関すること
  - ウ 広島空港アクセスの利便性向上に関すること
  - エ 広島空港の安全・保安の確保に関すること
- 広島県を中心とする中四国地域経済の活性化のために協力、連携すること
  - ア 広島県を中心とする中四国地域の観光産業の発展への貢献に関すること
  - イ 広島県を往来するビジネス渡航需要の創出に関すること

#### (2) HIAPの戦略的事業方針の共有

(1)の推進にあたり、HIAPの事業方針を共有し、合意する。

##### HIAPの戦略的事業方針

- (1) 広島空港の路線誘致に関すること
  - ア 中四国で唯一の国際路線の誘致
  - イ LCC・リージョナルキャリア<sup>※1</sup>の拠点化
  - ウ アジア主要路線のデイリー化
- (2) 広島空港の利用促進に関すること
  - ア 地域経済界と一丸となった空港の利用奨励・利用促進
  - イ 交通事業者等と連携した交通アクセスの利便性向上
  - ウ 中四国全域の航空需要を取り込む交通拠点化
- (3) 広島県を中心とする中四国地域の観光産業の発展への貢献に関すること
  - ア ディスティネーションマーケティング<sup>※2</sup>に基づく中四国の認知度向上
  - イ プロモーションの実施や受入環境整備による中四国地域の観光目的地化

※1 リージョナルキャリア：地方間を結ぶ航空会社のこと。

※2 ディスティネーションマーケティング：旅行目的地の市場調査のこと。

- (3) 協定の締結  
 令和3年7月3日(土)「広島空港民間運営開始記念式典(HIAP 主催)」  
 締結者 広島県：広島県知事 湯崎 英彦  
 広島国際空港(株)：代表取締役 中村 康浩
- (4) 協定書の有効期間  
 締結の日からHIAPの空港運営事業期間満了(令和32年12月17日)まで

### 3 参考

- (1) 広島国際空港(株) [HIAP: Hiroshima International Airport] の概要

所在地	三原市本郷町善入寺 64 番地 31
設立年月日	令和2年11月18日
事業内容	空港及び航空保安施設の運営, 環境対策, 空港施設の維持管理等
資本金	92 億 5000 万円
代表取締役	中村 康浩
株主	三井不動産株式会社, 東急株式会社, 株式会社広島銀行, ひろぎんキャピタルパートナーズ株式会社, 広島電鉄株式会社, 九州電力株式会社, 中国電力株式会社, 株式会社中電工, 株式会社エネルギー・コミュニケーションズ, マツダ株式会社, 福山通運株式会社, 株式会社広島マツダ, 広島ガス株式会社, 住友商事株式会社, 東急建設株式会社, 株式会社東急コミュニティー

- (2) 「広島空港民間運営開始記念式典」の概要

日時・場所 令和3年7月3日(土)14時～ 広島空港2階国際線出発ロビー  
 主催 広島国際空港(株)  
 内容 主催者挨拶・事業概要説明, パートナーシップ協定締結  
 来賓あいさつ・くす玉割り・三原やっさ踊り披露

- (3) 民営化に伴う空港周辺施設等の取扱いについて

